

ようこそ「いいとこ探しの学校」へ

草加市立栄中学校

校長 今泉 正之

本校は1947年(昭和22年)に現在の小学校の敷地内に新田村立新田中学校として開校し、1963年(昭和38年)、東京オリンピックの前年に現在の場所に移転、翌年に草加市立栄中学校と校名を改め、今年で58年目を迎えます。

東洋一のマンモス団地と言われた松原団地も再開発が進み、周囲の風景は大きく変わってきていますが、本校は多くの木々に囲まれた緑豊かな環境の中、13,712名の卒業生を輩出した草加の伝統校として、校訓「自主 自律 親和 協力」のもと、日々の教育活動を行っています。地域には獨協大学や草加かがやき特別支援学校があり、教育環境の整った地域です。保護者や地域の皆様の温かい協力をいただきながら、様々な教育実践を積み重ねてまいりました。今後も次代を担う子供たちの健全育成のために、学校・家庭・地域の絆を深めてまいりたいと思いますので、よろしくお願いたします。

令和3年度の栄中学校

本校は「いいとこ探しの学校」を合言葉に、生徒一人一人の良さを認め、伸ばし育てる学校教育を推進します。全校生徒が、自分そして周囲の「いいとこ探し」を通じ、なりたい自分を見つけ、それに向けて努力し続けることで、校訓の目指す「自主・自律」した大人に成長することを目指し、教育目標を次のように定めています。

☆学校教育目標☆

- 自ら学び考え、行動する生徒（知）
- 豊かな心を持ち、思いやりのある生徒（徳）
- 健康で、たくましい生徒（体）

また、学校教育目標を達成するための「目指す学校像」「目指す生徒像」を次のように決めました。

☆目指す学校像☆

- 一人一人がかげがえのない存在として大切にされる学校
- 人権や生命が尊重されお互いを認め合う「いいとこ探し」の学校
- 生徒が「通いたい」、保護者・地域が「通わせたい」学校

☆目指す生徒像☆

- 向上心を持ち、学び続ける生徒
- 心身ともに健康で心豊かな生徒
- 他者を認め、共に新たな価値を生み出す生徒

教職員一同、「チーム栄」として取り組んでまいります。保護者・地域の皆様もこのチームの一員としてご理解、ご協力いただきますようお願いいたします。